



# CISA (中華民国情報サービス産業協会) 視察団とJASA交流会

台風一過の快晴となったこの日、台湾よりCISA視察団が来日され、CISAからは25名、JASAからは11名と総勢36名の交流会が開催されました。

最初に、JASA国際委員会より廣田委員長によるご挨拶にて、CISA視察団への歓迎の言葉が述べられ和やかな雰囲気の中で、交流会が開始しました。

プログラムは武部専務理事よりJASAの紹介から始まり、日本企業の紹介として3社様より会社の紹介や取り組み、方向性のお話を頂きました。CISA視察団の皆様

は熱心に聴講され、時折メモを取っている姿も見受けられました。

その後、CISA理事長 邱月香 様よりご挨拶を頂き、台湾のIT業界の動向や国際交流の期待、積極的に日本企業と提携していきたい旨、お話されました。

CISAの企業各社様からはスマートシティ推進の取り組み、人材育成、ソフトウェアのオフショア、モバイルアプリなど様々な紹介を頂き、それぞれの日本企業との提携の様式をご提示いただきました。

その後の情報交換では名刺を交換しな

らご紹介いただいた企業とのお話で盛り上がりました。台湾企業からはぜひまた連絡を取りたいというオファーが多く、今後、提携が進むのではと期待しております。

この度のCISA来日に際してご協力を頂きましたJASA会員企業、ご出席頂きました皆様に御礼申し上げますと共に今後の発展を祈念いたします。



●日時：2019年10月17日(木)  
9:30~12:30

●場所：JASA会議室

●プログラム

- 1) ご挨拶 JASA国際委員会 廣田豊委員長
- 2) JASAの紹介 JASA 武部桂史専務理事
- 3) JASA企業の紹介  
株式会社エクスマーシオン  
代表取締役 渡辺博之 様  
サイバートラスト株式会社  
マーケティング本部長  
プロダクトマーケティング部長  
青山雄一 様  
株式会社日立制御ソリューションズ  
組込みシステム本部第2設計部  
副部長 牧野進二 様
- 4) CISAよりご挨拶 理事長 邱月香 様
- 5) CISA企業の紹介(10社)
- 6) 質疑応答、情報交換

## 編集後記

明けましておめでとうございます。一年の計は元旦にあり。令和最初の正月に、皆さまはどのような計画を立てられたでしょうか。オリンピックが開かれ節目となる2020年が、実りの多い年でもありますように…。

本号の特集は恒例の景況調査です。落とし所が見えない米中間の貿易摩擦など、日本経済を取り巻く環境は不透明感と不確実性が増しています。こうした状況を反映するような調査結果となりました。このところVUCA(ブーカ)という言葉がよく使われます。Volatility(不安定性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字をとった言葉です。もともとは軍事用語だったようですが、企業の経営環境を表す言葉

として使われることが多くなっています。今回の結果はVUCAな状況を端的に表していると言えそうです。

今号では国際委員会のベトナム視察レポートも掲載しています。私事ですが、ほぼ同じ時期に遅い夏休みを取り観光でベトナムのハノイを訪れました。ベトナムは人口1億人弱、平均年齢31歳の国です。実際にハノイのダウンタウンを歩いて、混沌とした雑踏から溢れ出るパワーや若い熱気を肌で感じました。現場を見ることの重要性を再確認しました。皆さまもぜひ、国際委員会の活動にご参加いただければと思います。

広報委員長 横田 英史